

杉並消防署からののお知らせ

地震だ！
まず身の安全

していますか？

家具類の転倒・落下・移動防止対策



令和6年1月1日、令和6年能登半島地震が発生しました。この地震で、石川県志賀町で震度7、北海道から九州地方まで震度6強から震度1を観測し、家具の転倒や落下物により負傷者が発生しています。災害の多い今だからこそ、「家具転対策」を見直しましょう！

※家具転(かぐてん)対策とは、「家具類の転倒・落下・移動防止対策」の略です。

●家具転対策をしていないと起こる危険

けが



地震時に3割～5割の人が、直接家具等が当たったり、つまずいて転んだり等でけがをしています。

火災



家具等がストーブ等を倒して、火災を引き起こすだけではなく、ストーブ等に本棚の本が落下し火災が発生することもあります。

避難障害



出入口付近に家具等を置いておくと、転倒した家具等が出口を塞ぎ部屋から出られなくなります。家具等を置く向きには注意が必要です。

●家具転対策の例

【家具類の転倒・落下防止対策の例】

- ベルト式冷蔵庫は壁にベルトで固定する。
- つっぱり棒(ポール)
- L型金具 壁に強度が足りない場合は、あて板をつけネジが抜けないようにする。
- 扉開放防止器具
- 粘着マットやベルトなどで電子レンジを固定するとともに、台も壁に固定する。
- 連結金具 上下に分かれている家具は連結する。
- ストッパー式 つっぱり棒を使用するときに併用する。
- ガラス飛散防止フィルム

※家具転倒防止器具は、ホームセンターや量販店などで販売しています。
※壁にキズをつけずに、取り付けられる器具もあります。

- L型金具
- ポール式器具
- ガラス飛散防止フィルム
- 扉開放防止器具
- ストッパー式 つっぱり棒を使用するときに併用する。

地震から命を守る家具転対策

—あなたの準備が大切な人の命を救います—

東京消防庁 家具転対策 検索

問い合わせ先 杉並消防署 地域防災担当
TEL:03-3393-0119

